

# 委員長研修

平成27年8月4日(火)～5日(水)

宮本 理一郎

参加:安元 慶彦 宮本 理一郎 大山 晃 三田 敏和 宮崎 昌宗

町議会としては全国でも屈指の議会改革に取り組み、その実効性をあげている広島県安芸郡坂町議会、世羅高原6次産業ネットワーク、広島県・山口県の道の駅などを視察・研修しました。

本町は現在、上毛スマートIC周辺整備事業を推進しているため、高速道路のサービスエリアや道の駅も視察しました。特に報告すべきは、坂町議会での研修でした。坂町は人口約1万3千人、広島市のベッドタウンとして発展中であり、議員定数12名(うち女性議員3名)の町です。

議会改革・活性化の取り組みは大変顕著で、その主な内容は次のとおりです。

平成23年3月、議会基本条例制定

平成23年12月、議会インターネット中継開始

平成24年4月から議会報告会を年一回実施

議会活動評価・議員活動評価を毎年実施し、ホームページに掲載

平成26年8月から中学校生徒会を対象に子ども議会開催

小学6年生が年3回議会を傍聴し、傍聴記を議会だよりに掲載

議会定例会終了後、議会運営委員会で反省会実施

県職員による「地方創生」に関する研修会実施

このように、多岐にわたっての活性化・改革を実行しており、議会改革度調査では広島県内で第9位(上位8位までは市制自治体)であり、町制自治体としてはトップでした。幅広く詳細にわたって議論を交わし、大変内容の濃い有意義な研修でした。この研修で得たものを本町議会に生かして、更なる議会改革活性化に向かって努力精進しなければならぬと考えています。



▲道の駅「北の関宿」

▲道の駅「舞ロードIC千代田」



▲坂町議会



▲世羅高原6次産業ネットワーク

# 第12回福岡県市議会議長会主催 議員研修会

平成27年8月24日(月)

於:八幡市民会館

岩花 寛之

第1部の「地方財政の現状と課題」では平成27年度末で807兆円に上る見込みの国債残高の解説と、地方自治体のプライマリーバランス(収支と収入のバランス)の黒字化についての説明がありました。今後も社会保障費が増加の一途をたどることが予想される中、本町が約47%を依存する国からの地方交付税などの減額も考えられます。自主財源の確保、強い自治体への体質改善が必要と考えさせられました。

第2部の「地方再生に向けた地域の活性化」では、ヒト・モノ・カネの3つの要素に対し、由布院温泉隆盛の3人の立役者や、ニューヨークの廃路線の活用例、クラウドファンディング(ネット上での小額寄付)などの具体例を交え、大変わかりやすく説明していただきました。



講演中紹介のあった、野口智弘著「由布院ものがたり」を早速購入しました。大変面白く、新たな熱意が湧きました。地方創生を考える事のできる貴重な機会をいただき、ありがとうございます。

# 田辺三菱製薬工場(株)吉富工場視察

平成27年7月31日(金)

高畑 廣視

上毛町及び吉富町議会議員23名で、田辺三菱製薬工場(株)吉富工場(旧吉富製薬)を視察しました。工場では主に医薬品を製造しており、以前は約1200名だった従業員は、会社の合併などにより現在は約700名ということでした。

映像による会社説明の後、事務所2階にある資料室を見学しました。80年近い歴史のある膨大な資料や写真が展示されており、ただただ感心しました。

次に製剤工場を視察しました。この工場は20年ほど前に建てられ、少ない人員で稼働しているとのことでした。当日は、月末の生産調整ということで、残念ながら生産ラインは稼働しておらず、当然現場で作業をする人も見受けられず機器も動いていませんでした。

機器が稼働している状態を一目見れば、オートメーション化、ロボットの作動、キャリアカーが無人で動く様子がわかり、見るものを飽きさせないだろうと思いました。

吉富工場は、現在元グラウンドに、煙突より高い大型のクレーン車数台が動き、新たな製剤工場を100億円ほど投資して建設中で、今年中に完成予定とのことでした。完成後の再訪問の約束を快く引き受けてもらい、新たな機器の作動を見るのが待ち遠しくなりました。



▲担当者による会社説明



▲資料室の見学

# 豊前市外二町清掃施設組合

組合議員:安元 慶彦・宮本 理一郎・三田 敏和・廣崎 誠治

9月2日(水)、豊前市外二町清掃施設組合は第3回定例会を開催しました。平成26年度歳入歳出決算認定が主な議案であり、全会一致で認定されました。

## 平成26年度 一般会計歳入歳出決算認定

<b>歳入総額</b>	<b>5億5130万円</b>	<b>歳出総額</b>	<b>5億2114万円</b>
◎ 主な歳入		◎ 主な歳出	
分担金及び負担金	4億3600万円 (上毛町分9478万円)	衛生費	3億5946万円 (ゴミ焼却・処理費)
使用料及び手数料	5066万円 (廃棄物処理手数料等)	公債費	1億4734万円 (施設整備借入地方債償還金)
財産収入	3503万円 (資源物売払収入 新聞・雑誌・缶・スクラップ・鉄など)		

## ◎ 次年度繰越金 3015万円

議会終了後、議会全員協議会を開催しました。

上毛町下唐原にある最終処分場(残さ埋立処分場)が埋め立てから30年が経過し、平成32年度まで埋立終了見込みのため、構成市町で持ち帰って検討するよう求められ、組合構成議員として「本町では新しい処分場については受け入れがたい」と発言しました。